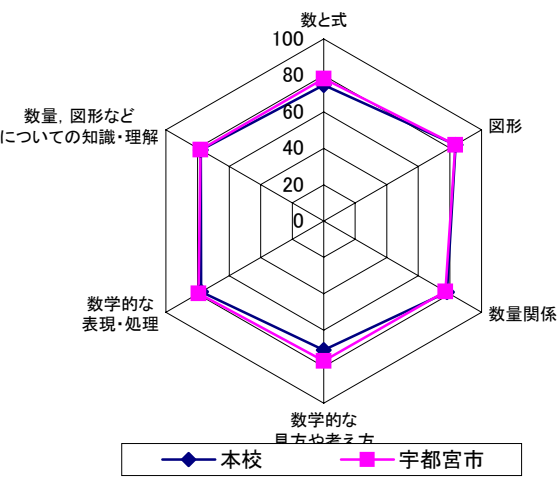


宇都宮市立上河内中学校第3学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	数と式	74.7	78.2
	図形	83.6	83.4
	数量関係	78.0	77.2
観点別	数学的な見方や考え方	70.7	76.8
	数学的な表現・処理	77.7	79.4
	数量、図形などについての知識・理解	77.8	78.2



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式 (74.7%)	・市と比較すると3.5ポイント下回っている。式の展開や因数分解、素因数分解の問題は正答率が市と同程度だった。平方根、2次方程式の問題の正答率が低い。特に平方根の加減乗除、平方根の大小を比べる問題、2次方程式の利用の問題の正答率が市より10ポイント近く低かった。	・平方根の意味の理解を図り、それをもとに計算の仕方を復習し、定着を図るために反復練習をさせたい。2次方程式については、問題をじっくり読み、図や表を用いて、数量の間の関係をとらえて、立式する力を身につけさせていきたい。
図形 (83.6%)	・市と同程度である。どの問題もほぼ正答率が80%以上であった。相似の証明で、相似条件を選ぶ問題が80%を下回った。本学年は1年生のときから図形に対する興味・関心が高い傾向にあり、今年度も図形への取り組みに積極性が見られた。	・三角形の相似条件について復習し理解を徹底したい。1、2年で学習した用語の意味や、定理を覚えていない生徒が多いので、再度復習して定着を図りたい。
数量関係 (78.0%)	・市と比較すると0.8ポイント上回っている。関数の意味や、関係の式をつくることグラフとしきの関係をとらえることなどは身につけている生徒が多い。特に変域については理解している生徒の割合が高い。しかしそれを利用する問題については不十分である。	・変数の間の関係を表や式、グラフに表すこと、さらに表、式、グラフの関係をしっかり理解させていきたい。中学校でいろいろな関数について学習したことを具体的な場面に利用して考察できるような力を身につけさせたい。